

出穂期「あきたこまち」は8月6日頃

1. 水稻の生育状況(7月18日)現在

あきたこまちの生育は、平年比で草丈97%、茎数81%、葉数-0.6葉、葉色104%で、『茎数不足』、『葉色濃いめ』の状態が続いております。

また、葉色が濃いことから早生品種は幼穂形成が2日～3日程度遅れており、出穂も数日遅れると予想されます。現在、中干し中で葉色等、圃場間差が見られますが、以下を参考に今後の管理に努めてください。

水稻定点調査圃の生育状況(7月18日)

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉齢(葉)		SPAD	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまち	65.2	66.9	372	458	10.9	11.6	43.3	41.6
(慣行)	64.7		355		11.0		43.6	
(側条へ ^o -ス等)	65.6		387		10.9		43.2	
前年比	100 %		85 %		-0.2 葉		100 %	
平年比	97 %		81 %		-0.6 葉		104 %	
たつこもち	67.5	66.5	414	457	11.0	11.5	46.3	44.5
きぬのはだ	61.9	63.2	517	536	12.0	12.0	38.5	40.8
ときめきもち	58.5	62.6	421	480	10.9	11.7	42.3	40.8

2. 出穂期予想[18日現在](砂地圃場は3日程度早め)

品種名	幼穂長(mm)	減数分裂盛期	出穂期予想	
			本年	平年
たつこもち	10~45	7月23日	8月2日	7月30日
あきたこまち	0~10	7月27日	8月6日	8月4日
きぬのはだ	0~5	7月30日	8月9日	8月9日
ときめきもち	0~10	7月30日	8月9日	8月9日

《幼穂長と出穂前日数並びに低温に対する強弱》

幼穂長	葉耳間長	出穂前日数	低温に対する強弱
7 cm	- 10cm	13日(減数分裂始期)	最も弱い (17℃以下が予想される場合は深水湛水で保温に努める)
15 cm	± 0	10日(減数分裂盛期)	

3. 今後の技術対応

- 1) 倒伏対策 [長稈・葉色が濃い圃場] [畦廻りスポット処理可能]
過剰生育等により倒伏が心配される圃場は、倒伏防止対策を考慮する必要がありますので、次の薬剤で対応してください。(各1成分)
(ロミカ粒剤) 出穂前25~10日 [散布量2~3kg/10a]
(あきたこまち：7月27日頃までが散布の目安)
(ビビフル粉剤DL) 出穂前10~5日 [散布量3~4kg/10a]
(あきたこまち：7月27日~8月1日頃が散布の目安)
(ビビフルフロアブル) 出穂前10~2日 [散布量1,000倍 100% /10a]
※ラジヘリ対応可 (あきたこまち：7月27日~8月4日頃が散布の目安)

2) 穂 肥

出穂後に穂首が伸長する品種(あきたこまち等)の追肥を行う場合は、各自圃場の生育量・葉色等を確認のうえ、葉色が低下している圃場を主体に穂肥を実施してください。減数分裂期に草丈が長く(80cm以上)、葉色値が高い圃場(SPAD値で42以上)では、倒伏の危険性がありますので、穂肥を控えてください。

3) 病害虫防除

① いもち病

中干し後も葉色の濃い圃場等では、葉いもち病の発生が懸念されますので、穂首及び枝梗への感染を防ぐためにも、圃場内を確認し発生が見えた場合は、つぎの薬剤で早急に防除をしてください。

○未防除・初発生圃場

・コラトップ1キロ粒剤：[1kg/10a、出穂5日前まで]

○発生が多い圃場

※(いもち病・稲こうじ病 同時防除)

・ブラシンプロアブル：[500ml 1,000倍、水100ℓ /10a]

※(ラジヘリ対応)[8倍、800ml/10a、500cc1本で50a散布]

・ビームエイトゾル (5L)

・ブラシンゾル (500ml) (いもち病・稲こうじ病 同時防除)

② 紋 枯 病

過剰生育の稲(特に畦畔廻等)については、今後の天候(高温)次第で発生が懸念されますので、心配される場合は、つぎの薬剤を散布し予防してください。

出穂5日前まで モンガリット1キロ粒剤・1成分[散布量1kg/10a]

※「紋枯病・稲こうじ病同時防除」：[3日間湛水状態を保つ]

③ 稲こうじ病

特に幼穂形成期~出穂期の低温・多湿条件で多く発生しますので、心配される場合は、つぎの薬剤を散布し予防してください。前年に発生した圃場(特にときめきもち)については、発生率が高まりますので防除に努めてください。

出穂10日前まで (Zボルドー粉剤DL・1成分)[散布量3kg/10a]

出穂期直後まで (ブラシン粉剤DL：2成分)[散布量4kg/10a]

④ 斑点米カメムシ類

[あきたこまち 1回目散布時期出穂後10日頃：8月16日前後] (ウンカにも効果)

スタークル 各1成分

[粉剤：散布量3kg/10a]

[液剤：1,000倍で60ℓ/10a、無人ヘリ：8倍で0.8ℓ/10a]

キラップ 各1成分

[粉剤：散布量3kg/10a]

[フロアブル：2,000倍で60ℓ/10a、無人ヘリ：16倍で0.8ℓ/10a]